

# 電機連合さんいん Sanin

Japanese Electrical Electronic & Information Union

No.4

## 電機連合山陰地方協議会

〒680-8634 鳥取県鳥取市立川町7-101

TEL: 0857-21-2280

FAX: 0857-21-2279

E-mail: denki.sanin@jeiu.or.jp

■発行責任者 石田 研二

■編集責任者 西川 真也

毎年恒例の労使懇談会を5月16日(金)、島根県出雲市にある「株式会社島根富士通」で開催しました。今年は構成組織の労使のみならず、地域でともに働く電機産業の会社幹部ならびに労組役員にも多数出席頂き、総勢39名が参加しました。

第1部は「出雲モデル」で有名なノートパソコンの製造ラインを見学。同社では多くの企業が海外へ生産工場を移す中、国内生産への強い拘りがあり、基板実装から製品組み立て、検査、梱包まで一貫生産しています。徹底された品質管理と改善作業への追求力、それを実践する社員の意識と行動力の高さに多くの参加者が強い関心を寄せっていました。

第2部は、電機連合中四国ブロック「経営分析セミナー」の講師でお馴染の石井康彦先生より、「財務報告からみえる会社のすがた」と題して講演を頂きました。財務会計の歴史や、会社が発表する財務内容ではどのような情報が好まれるか、など興味深い話をして頂きました。

その後の懇親会では、参加者全員が今後の経営活動や労使活動につなげるべく積極的な情報交換を行ってきました。

木村課長より  
会社概要説明



開会挨拶を行う  
石田議長



## 電機連合 山陰地協

# 第19回電機産業労使懇談会を 「株島根富士通」で開催!



(株)島根富士通  
宇佐美社長より歓迎挨拶



講演会の講師を  
務める石井先生





## 『経営分析セミナー』に参加して

2月7日(金)～8日(土)

2月7日(金)の朝、「経営分析セミナー」に参加するため、アークホテル岡山(岡山市)に向かいました。会場での受付の際、参加報告に手違いがあり、私の名前が登録されておらず、思いっきり焦りました。運良く欠席者が数名おられたので、私は何とかセミナーに参加することができ、先ずはひと安心。会社の仕事が忙しい中で、無理を押し切って参加したのに、単なる岡山旅行に終わってしまえば、上司や部下に申し訳ない事に成りかねず本当に良かったです。

経営分析セミナーは初めての参加でしたが、講師の

石井康彦先生の分り易い説明で、貸借対照表や損益計算書などの財務諸表の見方を教わり、会社側が重視している財務諸表のポイントや経



営分析の必要性を理解することができました。

その後、6つのチームに分かれ、ビジネスゲーム(家電量販店の経営)を行いました。3期に渡り経営を行い、私たちのチームは無事?黒字で終えることができましたが、販売する商品は同じであっても、販売形態(実店舗、ネット店舗)や価格設定、また設備投資や資金調達のタイミングなど戦略の違いによって、業績は一瞬にして大きく変動することが分かりました。成功か失敗かは、まさに紙一重ではないかと感じました。

今回のセミナーで得た知識や体験を今後の組合活動に活かすため、財務諸表に一層関心を持って見ていただきたいと思います。

ID	会社名	実績取扱額			年度予算実績		
		PINEAPPLE	PONY	PHYSON	PINEAPPLE	PONY	PHYSON
1	ヘルス	38,932	27,189	35,104	32,464	36,116	17,297
2	ニード	36,290	0	0	0	0	0
3	パラダイス	71,840	1,480	2,479	17,436	561	327
4	H.TANAKA	137,250	89,548	92,303	61,513	8,564	63,652
5	鷹野介史	0	0	0	943	28,080	31,213
6	ルネバズ	8,900	8,700	3,200	692	783	1,322
7	JSP産業	11,200	0	10,200	3,834	0	4,341
8	YNA	44,480	56,409	12,060	11,826	0	3,999
期首在庫		総販売台数			指定市場規模		
6,685,152		67.4%			\$51,636,346		
販売実績		販売額			希望額		
PINEAPPLE		\$11.8			48.8		
PONY		1.0			25.0		
PHYSON		1.0			18.0		
PINEAPPLE		10.0			35.0		
PONY		1.0			22.0		
PHYSON		1.0			16.0		



## 『第23回フレンドリーフォーラム』に参加して

4月11日(金)～12日(土)



山本 千鶴子さん  
オンキョー労働組合鳥取支部

電機連合中国ブロック主催の「第23回フレンドリーフォーラム」が鳥取県東部で開催され、中国地方各地から32名の参加者が集まりました。

はじめに岩美町にあるFDK鳥取株式会社へ工場見学に行きました。同社は主にアルカリ電池やリチウム電池を生産する会社で、整理整頓が徹底されている印象を持ちました。また、改善活動への追求や資格取得による人材育成が積極的に進められており、こうした取り組みが現場力を一層向上させるということを改めて認識することができました。

続いて講演会が2本準備されており、1本目は「ずっと働く環境づくり～マタハラって知ってる?」というテーマでした。妊娠経験のある女性労働者の4人に1人がマタハラを



受けたことがあるとのことですが、認知度そのものはまだ低い実態です。2本目は「電機連合の男女平等政策について」の講演でした。講師の富高中執(電機連合本部)は、組合活動における女性の参画意義や、あらゆる場面に女性の参画促進をもっと進めていかなければならないと訴えておられました。

これらの講演を通して、労組役員として「知ること」「知ってもらうこと」そして「コミュニケーションの大切さ」を強く感じました。同時に、今回の研修内容を組合員に伝え、機会があれば一緒に参加し、まず「知ってもらう」場を積極的に作っていければと思います。最後にグループに分かれ意見交換を行い、各人の職場の現状や活動事例を知ることができ、今後の活動のヒントを頂き貴重な経験をさせて頂きました。



## 鳥取地域協、初の「女性役員交流会」を開催！

2月1日（土）、とりぎん文化会館をメイン会場として「第1回女性役員交流会」を開催しました。加盟組合6組織の女性組合役員・書記・組合員、17名が集まり、電機連合共済制度学習会で共済の知識を深めたのちに、プリザーブドフラワー

アレンジメントを体験しました。参加者からは、「他労組の女性組合役員と交流できた。」などの感想もあり、貴重な懇親の機会となりました。また、男女平等参画の観点からも有意義な取り組みとなりました。



## 民主党議員を招き、地域改革フォーラムで課題を共有

3月29日（土）、鳥取地域協中西部支部「地域改革フォーラム」を倉吉シティホテルで開催。講師に湯原元衆議院議員、伊藤県議（民主党県連代表）、興治県議（民主党県連幹事長）、西川議長（鳥取地域協）、4労組から役員40名が参加しました。

各組合より会社経営の現状と展望、組合活動についての課題について報告した後、各講師から電機連合の政策制度、鳥取県の産業雇用政策や子育て支援政策の現状等について講演頂き、それぞれの課題と改善策の共有を図りました。



## 鳥取・島根地域協 ホット通信 からの

### 「電機・島根地域協」の労使で (株)ダイハツメタル出雲工場を見学

2月3日（月）に電機連合島根地域協議会の活動として毎年実施している島根地区電機産業労使連絡会を出雲市内にある(株)ダイハツメタル出雲工場を訪問し開催いたしました。研修センターにて会社概要（生産規模、主な取引先など）の説明を受けた後、工場内の説明をいただきました。主に自動車用の鋳鉄・アルミ鋳物部品（足回り部品、エンジン周辺部品）の製造をされており、その他にも農機部品、船舶用ディーゼルエンジンや工作機械のような大型

部品の製造等、幅広く事業を展開されています。約480名の方が勤務されており、その内の約80%が出雲市内在住の地元採用の従業員だと言う事を聞き、地元採用率の高さに大変驚かされました。

工場内は熔けた鉄を扱う常に危険と隣り合わせの厳しい職場環境だと感じました。そういった環境下の中でも常に安全第一を意識した生産活動を推進されており、労働災害の発生を未然に防がれていました。自分達の職場においても安全についての意識の向上、労働災害未然防止の取組みを再度徹底していきたいと感じました。



# 山陰地協構成組合紹介

鳥取 -Tottori-

旭東電気労働組合鳥取支部

鳥取県東伯郡琴浦町徳万158-1

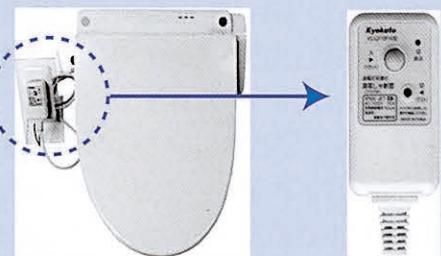
旭東電気(株)は、国内では東京、大阪、鳥取に、海外では中国に拠点をおいて事業を展開しています。主要事業としては開閉機器事業があります。安全ブレーカ・漏電遮断器等の遮断器・開閉器を設計・製造・販売しています。温水便座で主に使われていますので、皆さん自宅の温水便座をご覧になってみてください。もう一つはEMS事業で、これは電気製品の受託組立加工のこと、組立・基板実装等を行っています。

労働組合は、本部は大阪にあり、結成は1958年です。鳥取においては、2010年に「ステップ電気労組」と合併し、新しく「旭東電気労組鳥取支部」としてスタートしました。具体的な活動としては、組合のレクリエーション旅行を本部と合同で2年に一度開催しており、これにより普段なかなか会うことの出来ない拠点間メンバーの交流の機会を作っています。最近では会社側にも協賛頂き、拠点間合同のスポーツ大会や夏祭りを行い、会社に従業員の家族を呼んで食事やイベントで交流を深めています。これらの組合活動を通して人と人の繋がり、絆が深められたらという思いで活動を行っています。



## 漏電保護プラグ

### 温水便座・小型ポンプ



島根 -Shimane-

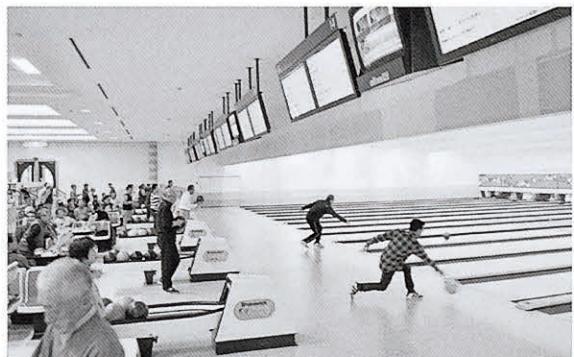
日立金属労働組合安来支部

島根県安来市亀島町6-1

日立金属は、昭和12年に(株)日立製作所と合併した後、昭和31年に日立製作所から分離独立した会社が起源であり、現在では自動車部品関連、エレクトロニクス関連、産業インフラ関連が主な市場となっています。一般的の皆さんがあなたが直接目に触れる事はほとんどありませんが、航空機、自動車、住宅、IT・家電、エネルギー、医療機器など幅広い分野で使われている素材や部品の製造を行っています。

労働組合は、昭和21年に連合体組織として結成され、現在は組合員数約6,500名の単一組織となり、本部と10支部で構成されています。安来支部には1,400名余りの組合員が在籍しており、15名の執行部と42名の評議員を中心に組合活動を行っています。

具体的な活動としては、工場諸施策の問題、労金・労済活動、そして若年者から熟年者まで幅広い方々に対し、日々の生活に合わせた親交や健康づくりをめざした余暇の充実活動等を中心に行っています。労働組合として、安全を含めた労働環境の改善は勿論のこと、会社や地域の中で少しでも楽しく充実した社会生活が送れるように取り組んでいます。その組合行事の一部を写真で紹介します。



熟年者(50才以上・OB)ボウリング大会▲



ピザ作り(青年部)▲